

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

DOYU 2012 April 4 Vol.549
MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE



髪飾り

特集

広報情報化推進本部

地域に深耕する同友会、この1年

21世紀型 自立型企业づくり

社員が「数字」を読めるようになった

鵜池商事株式会社 代表取締役

かめがわ
亀川

たかし
隆氏
中央支部



よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

今月の表紙



30年前にブライダル美容師として独立した折に最初に購入した思い出のかんざしです。

輪島塗の土台に細工が施され当時の私にとっては大変高価な物でしたが、一生の財産にと私の師匠が選んでくれたものです。



撮影：船木 治

現在、日本の和の文化が見直され、和装の花嫁姿が多くなり神社挙式も増えております。当社の【はかた花嫁日本流】という企画も大変好評いただいて、ホームページでの申し込みも多くなりうれしく思っています。

「私の逸品」 髪飾り

有限会社 MFクリエイション
代表取締役 渡辺むつみ氏

【はかた花嫁日本流】のホームページアドレスは、<http://www.hakata-braidal.com>です。

「あなたの写真で表紙を飾りませんか！」

表紙の写真をご募いたします。テーマは「私の逸品」です。詳細は、福岡県中小企業家同友会 広報情報室「月刊同友」編集部まで

締め切り…平成24年6月号は5月1日必着

投稿方法…電子メール、郵送いずれも可

表題に「みんなの広場」とご記載ください。

郵 送 先…福岡県中小企業家同友会 広報情報室「月刊同友」編集部
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
もしくは n_ooba@fukuoka.doyu.jp まで

※応募が多数の場合は編集委員会で選考いたします。なお、投稿いただいた作品は返却いたしませんので、ご了承ください。

c o n t e n t s

特集

広報情報化推進本部

地域に深耕する同友会、この1年……3

21世紀型 自立型企業づくり

社員が「数字」を読めるようになった 6

～問屋が生き残る方法～

鶴池商事株式会社

第24回中小企業問題全国研究集会報告……9

物づくり、人づくり、地域づくり- ⑩ ……10

ようこそ同友会へ ……11

4月行事ご案内 ……12

新商品ご紹介 ……14

第11回理事会報告 ……15

Information

被災地同友会は、頑張っています!! Vol.9

「震災1年、強い絆のもとわれら断じて滅びず」 福島・郡山に全国から約1600名が集う

2011年3月11日発生した東日本大震災から約1年、福島県郡山市内で第42回中小企業問題全国研究集会(3月8～9日)が開催されました。「原発30キロ圏内からのレポート」と題した分科会では、津波で水没した1店舗を除き翌日から全店舗を再開させた背景には、地域の食を支えるという使命感による社員の自主的な動きがあったこと、経営理念の社員との共有に重要な意義があったことが報告されました。

2日間の最後、「被災者との連帯をさらに強め、全国から復興と日本経済再生のうねりを興す」とする特別アピールを提案、これを満場の拍手で採択。来年の全研開催地となる福岡同友会からは、復興支援ソング「SMILE AGAIN」の大合唱と連帯のエールで感動のフィナーレとなりました。



地域に深耕する同友会、この一年

2011年秋、全国広報情報化交流会において、事務局長の川畑義行さんが福岡同友会の3・11による被害アンケート調査（500を超える調査の答えが数日の間に集まる）について報告をしました。会員の生の声を行政をはじめ他団体に発信をし、記者発表を通じて大きく報道されました。このことが示すとおり、私たちの広報情報化の取り組みは質的な変化を遂げています。今回の特集は「地域に深耕する同友会、この一年」と題して、広報情報化に携わるみなさんにこの一年を振り返っていただきました。

【司会】

私はこれまで「広報や情報化」というと機関紙づくりのための文章づくりや写真撮影、レイアウト作成やホームページ作成など見せ方に取り組み、内容は活動の結果を知らせる、といったような狭い捉え方をしていました。ところが、この数年間、edoyuが導入されたこともあり、会の広報情報化は組織強化や対外広報を強化するうえで重要な役割を求められるようになってきました。まずは簡単な自己紹介もかねて、それぞれの立場から広報情報化についてご自身の考えを発言してください。

【中村】

広報情報化は組織強化のための重要な戦略だと、全国においても発言してきました。私たちは、企業経営で売上を伸ばし利益を伸ばすためには会社案内・ホームページやダイレクトメール等の広報情報活動によって絶えず新規開拓を行ない、固定客には会社ニュース等でフォローをしっかりとやって社内報にて従業員間のコミュニケーションを円滑にしなければなりません。それが同友会ではホームページやマスコミ懇談会などの対外広報の取り組みであり、中小企業家新聞や月刊同友などの会内広報、グループウェアであるe・doyuだと思



中村 高明氏
代表理事（中同協 情報化推進本部長）

んですね。そういう広報情報化活動によって増強目標が達成され、組織強化につながり、私たちの企業経営にも反映されることになりましたよね。もともと経営者は会社の広報マンであるわけですから、同友会におけるこのような取り組みに對しての理解があるのが当然だと考えています。

【村山】

働く女性を応援する情報誌「アヴァンティ」を発行し、

働く女性のポータルサイトを目指したホームページを作っています。会社のスタンスをはっきりさせることでマスコミからの注目が高まり取材が増えます。コンセプトを明確に発信することで、「働く女性のことならアヴァンティに聞け」と、新聞やテレビの取材を受けることも多く、記者さんたちとの人間的な繋がりが増えました。同友会では報道担当として4年前より年に2回、マスコミ懇談会を行い記者との人間関係づくりに取り組みました。おかげさまで最近は同友会や会員の報道が増えてきました。マスコミを通じて同友会を広く知っていただくこと、会員が取り組む事業のことを知っていただくこと、1社1社を世に押し出すこと、それが広報の役割だと考えています。

【貞池】

私どもは求人情報を発信していますが、求人情報といえは、新鮮で正確でわかりやすさが求められます。また、人々の暮らしにかかわるといいう点で理念経営が求められる仕事でもあります。サラリーマン時代の昭和58年、景気の低迷

で悪徳企業が暗躍をし始めた当時、私どもはそうした企業の採用の手伝いをしていました。ちょうど、創業社長が亡くなり、その後任として就任された会長が「人と企業の架け橋」という理念を掲げ、悪徳企業の掲載は受けない方針が出されました。一切妥協を許さず悪徳企業の掲載はすべてお断りしたことで、私たちは誇りと自信をもった仕事ができるようになりました。このような原体験が私どもの企業づくりの柱になっています。したがって会員企業が同友会理念の実践に結びつくような広報情報化でありたいと考えています。



貞池 龍彦氏
広報情報化推進副本部長

【齋藤】

創業して22年になりますがこの間、通信の環境は大きく変化してきました。私どもはパソコン通信時代から遠隔地のお客様にプログラムやデー

タを通信で送ったり、遠隔操作でメンテナンスを行ってサービス差別化をしてきました。私が入会した1994年はインターネットが学術研究用から商用へ利用が拡大した時期でもあり、同友会でも勉強会を開けば満席という状況でした。当然、仕事でインターネットは活用してきましたが、支部でも当時活用をしました。今では考えられませんが会員名簿をそのままネットにアップしたようなもので会員の活躍を身近に知ることができました。現在は情報化部会としてe・doyuや県、地区、支部や委員会などのホームページ活用の支援を行なっています。会員活動をタイムリーに発信することで会員の参画意識を高めることが会活動の活性化に結びつくと考えています。

【司会】

それぞれの立場での広報情報化の取り組みについて語っていただきました。さらに深めてみなさんが感じていらっしゃる福岡同友会での広報情報化についての課題を発言いただきたいと思います。

【中村】

私は同友会活動に対する方向について会員のベクトルを合わせていく必要があると考えます。対外広報はもちろん重要ではありますが、県の方針に対する理解を深めていただくという点において、もつと会内広報を強化していく必要があると感じています。そのためにはe・doyuの活用を促進させていくことが求められると私自身は考えています。

【村山】

21世紀型「自立型企業づくり」というタイトルで会員インタビューを月刊同友でもホームページでも掲載していますが、会員企業の経営の考え方や体験を発信することは大事です。中小企業家の1社1社の経営体験は辞書の1ページ。会員にとっても有効な情報ですし、同友会理念を



村山由香里氏
広報情報化推進本部長

経営体験から伝えることができます。ホームページのタイトルは、ぱっと見て何のコーナーなのかわかるように変更したほうがいいかもしれません。さらに同友会の理念や組織の発信、それに中小企業の地位向上を図っていくのが広報の役割ではないでしょうか。

【貞池】

これまでの広報の取り組み姿勢を4点ほど掲げています。一つ目に同友会理念の深化です。これは広報マンである私たちが同友会理念のフィルターを持つと言うことです。二つ目に現場主義に徹するです。月刊同友の自立型企業は共同取材という形で必ず現場に赴いて取材を行います。三つ目が会員の目線に立つことです。例えば中小企業憲章などわかりにくいテーマは一般会員の座談会で理解を深めていただきます。最後に参加から参画へです。これら自身につけた広報マンを数多く育成することが福岡の課題だと感じています。

【齋藤】

今は支部例会や委員会活

動、経営指針づくりや同友会を知る会など様々な活動から生まれる情報を会員のみならず共有できる環境づくりに取り組んでいます。情報を共有することで時間的ロスもなくなり、内容も濃くなり例会など活動の質も高まってきます。ただし、情報化に伴う道具には必ず良い面と悪い面の二面性があります。そこで同友会会員として意識した活用、理念や使命感をもって情報を活用していくことが求められます。しつかり、会員の理解を求めながら進めることが大切だと思っています。



齋藤 純氏
情報化推進本部長

【司会】

この20年間、事務局も意識的に会外との交流を進めてきました。また会活動を通じて他団体とのつながりも広めるところとなりました。おかげで50周年事業の取り組みの一つであるスマイルアゲインは行政や他団体、マスコミなどから大きな評価と協力をいた

いただきました。先ほど村山さんから出されたように同友会運動や会員企業の発信は大切な取り組みです。また貞池さんからは情報は正確でわかりやすく、齋藤さんからはインフラが整う中で同友会がどう情報化を行い発信するべきかが触れられました。これらの課題を未来にむけどのように取り組んでいけばよいでしょうか？

【中村】

広報情報化活動と企業経営は不離一体という話をしよつちゅうしているわけですが、もつと多くの会員に広報情報化に関っていただきたいと思っています。8月にはe・doyuもリニューアルの予定です。この機会に徹底的に利用をしていただき参画していただきたいと思いますね。

【貞池】

川畑さんが昨年の秋に全国で報告をされましたが、これまで全国の広報情報化交流会では何度も福岡同友会の事例が報告されています。アンケートの活用、マスコミや行政、他団体や学校との関係づくりなどは、本部、地区、委

地域に深耕する同友会、この一年

員会などが個々に取り組んでいます。それを一度整理をして、福岡の立ち位置を理事会で確認をしたうえで広報や情報化とどのように向き合うのかをみなさんと話をしていただと理解が深まると思うんです。すると、必ず理事のみなさんからe・doyuを積極的に活用しようという動きがでてくると思います。

【齋藤】

情報は活かされて初めて価値が生まれます。アンケート結果などは必ずみなさんに発信し続けていくことにより理解が進みます。e・doyuの使い勝手の問題ではなく、理解がすすむ使われ方を会員のみなさんに提案をしていくほうがよいですね。必要に応じて機能や使い方を教えて、使い始めていただく道具に対する理解も深まっていきます。

【村山】

3ヶ月に一度、景況調査の分析会議をおこなってマスコミ発表をし、さらに月刊同友会で会内広報もされていますが、例えばe・doyuで毎月テーマを変えて調査をして

「経営者はこのように考えている」とマスコミに発信をしてはいかがでしょうか。

【司会】

先日のe・doyuの刷新についての勉強会でe・doyu活用例として、アンケート調査に関して発表をしました。福岡同友会では、かなりの種類のアンケート調査をしているんです。ところがその結果を会の内外に発表されていないのが実情です。ほんの数日で経営者の声を集められるe・doyuはまさに現場主義の実践であり正確な情報ともいえます。以前、アンケート調査の回答をイエス、ノーだけにしたら会員さんから書き込み欄を作るようにとお叱りの声をいただきました。それこそが中小企業家が生の声を発信できる唯一の場所なんです。

【貞池】

ぜひ、川畑さんには理事会でも福岡の取り組みについて報告をしていただきたいですね。中村さんは情報化に関して中同協の立場で何度も報告をされています。

広報情報化と企業経営は不離一体とはどういう意味か、みなさんが考える場を提供すれば加速度的に理解が進むと考えています。同時に会員増強や組織問題への取り組みも積極的になると思います。

【齋藤】

e・doyuも道具をただ渡すだけではダメです。例えば今度の刷新でも、これまでのe・doyuとの違いを明確にし、会員のみなさんによりかり伝えたいで渡すことが求められます。せっかく便利になるのに、これまでの既成概念のために使わずじまいになるともつたいないと思います。

【司会】

それでは最後に皆さん方にとっての発言を一言ずつお願いします。



司会：川畑 義行氏
事務局長

【貞池】

以前、労使問題全国交流会が愛知で開催されたときのことで、専門委員会の全国大会にも関わらず、一緒のテーブルになった一般の愛知同友会の方たちが労使見解を相当勉強されているんですね。これには驚かされました。私は同友会活動の本質はやはり同友会理念をいかに会員企業が経営に生かすかということだと思います。そのことが広報活動の原点だと考えています。

【齋藤】

私は本質をいかに追及するかが重要だと考えます。自社や取引先、さらに自分の成長を促すことが求められます。同友会活動を通じて本質を究めることにより理解も考え方も深まっていくのではないのでしょうか。

【村山】

大学卒業予定者のうち、就職内定者は6割を切っています。中小企業は求めているのに、学生は大企業志向が強くなり、雇用のミスマッチが起きています。大学の先生方や学生に同友会や中小企業家経営者の

ことを伝えていく必要があると思います。中小企業家の元気を発信していただきたいですね。

【中村】

福岡同友会に広報情報化推進本部ができて一年、様々な意見が出されました。本部は同友会の未来を左右するくらい大きな役割があると考えています。次年度は皆さんのご理解を頂き広報情報化に関する陣容の強化に取り組んでいきたいと思っています。

【司会】

情報化に関して、ある事務局員がどのように表現しました。それは「個人の思いや経験をデータにして共有し、あるべき未来を描いていくこと」。それでわたしも「ああそうか」と腑に落ちました。これから情報化を積極的に進め会員さんの活動を支援するとともに、情報創造による広報活動のバックアップになるように会としても取り組んでいければと思います。

社員が『数字』を読めるようになった

問屋が生き残る方法

赤字続きの問屋の社長に就任し、社員の陣容は変わらないままで一年目から黒字転換に成功しました。その秘訣はどこにあるのでしょうか。

会社概要

「この会社の創立は昭和33年です」と切り出したのは、鵜池商事株式会社代表取締役の亀川隆さんです。理研農産化工株式会社の系列販売として、食用油脂・小麦粉をメインに、砂糖・澱粉・添加物などを卸しています。顧客構成は7割がユーザー（飲食業・弁当店）、3割が2次卸し店です。福岡市の

中心地・赤坂で屋上に大きな『理研』の看板を上げたビルに事務所・倉庫を構えています。午前の受注は午後には納品できる体制を敷いています。メーカーや他の問屋では運搬しにくい得意先まできめ細かく営業を展開しています。「場所柄、お客様のほうから引き取りに来てくださることもあるんですよ」と亀川さんは語ります。その利便性

のよさと50年を超えるお客様と構築した信頼が鵜池商事の強みです。

「実は12年前、私が社長になるまでは赤字続きで債務超過に陥っていました」と亀川さん。以前は親会社・理研農産化工のオーナー一族が交代で社長を務めていました。一族以外から初めて亀川さんが社長に抜擢されたのです。それまで亀川さんは親会社で営

鵜池商事株式会社

代表取締役

かめがわ

亀川

たかし

隆氏

中央支部

取材 広報情報室
文章/菅原 弘

▼ corporate data

鵜池商事株式会社
創業/1958年1月
資本金/1億2千万円
売上高/31億円
住所/福岡市中央区舞鶴3-1-3
TEL 092-741-2241
従業員数/社員:21名 パート:1名





業をしていました。社員の陣容は変わらないままで、就任1年目から黒字転換に成功しました。以来7期連続増収増益を含め黒字を続けています。「初めは手形が落ちるか、眠られない日々でした」と振り返ります。黒字転換の要因をお伺いすると「会議資料をオープンにしたことでしょうか」。同社の会議は『損益計算書の月次表』と『3カ年経営計画書』を使用して開催されています。さらに詳しくお話を聞きました。

数字が読めるようになった

亀川さんが社長に就任するまでは、2支店（佐賀・長崎）を含めて全社の社員が一堂に会することすらなかったそうです。そこで、まずホテルの会議室の一室を借りて社内コミュニケーションを深めることから始めました。現在では、会議は全員参加で開催されます。当初、社員さんたちは損益計算書が読めませんでした。亀川さんは懇切丁寧に説明を繰り返しながら会議を進めたそうです。半年もする

と社員は徐々に理解できるようになってきました。当月と前年の比較・当月と前月の比較などで問題点を把握できるようになり、利益意識が高まってきたといえます。それまではいわゆる『売上主義』で、取扱商品の中で単価の高い小麦粉・食料油脂で売上を構成する傾向が高かったといえます。しかしそれらは利益率が低い商品でした。鵜池商事で一般商品に区分している砂糖・澱粉添加物、スバゲティ、パン粉など粗利の高い商品で売上構成を増やしていくようになりました。「問屋ですから、いろいろ売るものがあるんですね。私もメーカーにいたときは売上主義で『油』ばかり売っていました。でも利益を意識しているうちに自分は『問屋向き』の人間だと気づきました」。

また、亀川さんのアイディアもありました。会議において、営業社員一人ひとりを会社の経営者に見立て売上・利益・費用などを図示しランク付けしていききました。それにより社員の利益に対する関心がさらに高まりました。損益計算書だけでは分かりにくいお金の流れを、『キャッシュフロー一覧表』を作成して説明しました。回収サイトを短くし、支払いサイトを長くすることでキャッシュフローがよくなることが理解されていったのです。これは月次の予算管理やメーカーや新規顧客との交渉に有効に活用されています。

こうして債務超過は社長就任後6年目で累積赤字は7年目で解消しました。新たに『自己資本比率』と『興信所による評価点数』という指標が上昇してきて社員のモラルがさらに高まりました。

「最近では社員から財務に関する質問も多く出るようになりました。私も勉強しています。お互いに切磋琢磨ですね」。まさに会議が実践的な社員教育の場にもなっているのです。

ビジョンを示す

「社長になって3年目に同友会に入会しました。もともと経営指針書はもっていませんが、より質の高いものを作るのが目的で入会しました。経営理念には『感謝』『感動』『愛』が明確に謳われています。



ます。自慢できるような会社になってきました」と亀川さんは目を細めます。

内勤者の強化

福岡では6人の営業に対して4名の内勤者がいます。「もともと内勤者は2人だったのですが増員しました」。内勤者は仕入値と売値のチェック・在庫のチェック・財務諸表のチェックを担当しています。営業マンと密に連絡を取り日々変動する価格に対応しています。また端末に頼れば即座に数字の確認もできますが、手書きの日報（売上管理表）を提出してもらうことで在庫差異がなくなったと言います。

社員のやる気を

出させる仕組み

就業規則・評価制度を独自で作成しました。
給与・賞与は年々上がって

います。さらに残業はなし（就業時間は8時10分〜17時10分）、有給休暇は完全消化となっています。問屋業としては珍しいケースといえるでしょう。

亀川さんが社員を指導する際に気をつけていることがあります。「私の性格もあるのでしょうが」と前置きして、「社員を怒らないということですよ」。成績の悪い者に対して怒っていると、会議では言い訳、即ち売上が悪かったことに対する正当性を言うようになるといいます。「個人攻撃で業績が伸びるならそれもありですが、やる気をなくさせたのでは元も子もありません」。これは亀川さん自身の学生時代・陸上部での経験に由来しているようです。一方、業績のよかった営業には会議で発表の場を与えています。また、業績の芳しくないベテランを、従来はなかった転勤をさせ配置転換しました。現在では活き活きとして業績

を上げているとのこと。「いい緊張感が生まれたと思いますね」。

さらに挨拶を大切にし、社内を明るくすることに努めています。「今、同友会では支部長を仰せつかっています」「明るく楽しく」をモットーにしています。そうすれば人が集まってきますから」。

今後の課題

「モノを仕入れて売るだけなら、誰でもできます。いかに付加価値を高めるかですね」単に売上だけなら、夜の飲食店相手に営業を掛ければ上がります、残業代など費用が掛かり利益を圧迫します。亀川さんは今後の課題として自社商品の開発を挙げています。キーワードの一つは『小物』。一例としてメーカーが一袋20kg〜30kgで製造している製品を1kg単位に分けることで、販路が今以上に広がります。実際に営業所によっては採用している部

署もあります。さらに仕入れたアイテムを組み合わせることに由来するオリジナル商品の開発です。それには今しばらくの時間が必要そうです。

また、当社から卸したお客様が加工した商品を当社で買い上げ、再販していくこともできます。冷凍食品を希望するところにはメーカー直送で対応もしています。いずれにせよ、情報力がモノを言います。

自立型企業について

取材の最後に亀川さんの考える『自立型企業』についてお伺いしました。

「社員一人ひとりが経営者的な立場でモノを考え、それらが集まった共同体だと思います。ウチとしてはさらに自社のオリジナル商品を早く作りたいですね」と締めていただきました。

取材協力ありがとうございました。

当たり前前のごんごんが どんなに幸せなことかわかりました

須藤英一郎（福博支部）

二日目の特別企画パネル
ディスカッション「私たちは
負けない！」〜地震、津波、
原発、風評被害の四重苦を
乗り越えて〜で、被災され
た会員の言葉だ。

「当たり前前のごんごん、
家族があり、家があり、仕事
がある・・・、震災により
これらが一瞬でなくなっ
てしまった。でも当たり前前
前の当たり前：「水、空気、
土地」、これさえも彼らは奪
われたのだ。このことを聞い
た時、はじめて彼らが置か
れている状況の一端を知り、
当たり前前にするためにどれ
だけの困難を乗り越えてい
るのかと衝撃を受けた。

「地域みんなが困ってい
るから」と翌日から営業を
はじめたスーパーや、クリー
ニング店。自分たちも被災



しているのに会社に集まり、
自ら地域のために働き出した
社員たち。

自分たちの使命と地域に対
する役割をちゃんとわかって
いるから自ら働く（自働）こ
とが出来た。これが経営理念
であり経営指針だと教えられ
た。同友会で学んでいる「経
営指針作り」、「労使見解」、「地
域づくり」は困難な時こそ必
要なものだと改めて知った。

事務局も大切なパートナー
であることも言われていた。
被災して一番困ったことは情
報が入らないこと。どんな状
況になっているか、会員企業
は無事か、必要なものは何
か、と情報が錯綜しているこ
ろ、事務局が整理を的確
に発信してくれたことが大
に助かった、と。

同友会活動の大きさと、学
んでいることに間違いはないこ
とに気づかせてもらった。

「SMILE AGAIN」
を最初の一步に

来年は福岡で全研開催とい
う案内と東日本大震災復興支
援CDの案内というミッショ
ンを担い、福岡から42名が参
加。当初被災地で復興支援の
お願いをするのはどうかと
思っていたが、全員の前で
「SMILE AGAIN」を
歌った時、歌詞の想いに歌い
ながら感動した。聴衆の中
にも涙ぐむ人がいて、それを

見てさらに感動。

復興は長い年数がかか
る。みんなが忘れないた
め、そして息の長い支援を
するために、「SMILE
AGAIN」を初めの一步と
して取り組むべきと思った。
開催地福島をはじめ被災さ
れた東北三県の「震災一年、
強い絆のもと われら断じて
滅びず」という強い想いと、
全国から集まった「がんば
れ！」という熱い想いが一体
となった、勇気と感動に満ち
溢れた全研でした。



去る3月8日～9日の2日間、第42回中小企業問題全国研究集会（中同協主催）が、東日本大震災の被害を受け今復興のまっただ中にある福島県で開催されました。ご存知のように福島県は原発の問題もまだ方向が見えないくらいに物理的にも精神的にも厳しい毎日が続いています。その福島県の経営者の企業家魂に深い学びをいただき、熱い熱気につつまれた感動の2日間を全国から参加した約1600名の会員が全国各地に持ち帰りました。

また、2013年に開催する福岡同友会も42名の参加者が舞台に上がり、意気高くPRしてきました。

小ロットでの食品加工、充填、商品化

株式会社 ジオエステイメイト

取締役 坪山 つばやま いづみ氏 **南支部**

小ロット生産への取り組み

料理に自信があるお店が、オリジナルの商品を作ろうとして、まず、突き当たる壁が、生産ロット数の問題です。農家でも、農産物を出荷するだけでなく、オリジナルの加工品を作りたいと思っても、このロットの問題に悩みます。知名度もなく、販路も作れていない状態で、いきなり最低何万個からというのは、非常に高いハードルです。

また、商品の完成度も低く、お客様の声を聞いて改良したい

と考えていても、一度、多くの商品を作ってしまうとその商品が売れるまで、改良できません。株式会社ジオエステイメイトの坪山いづみさんは、このような飲食店や農家の声を聞いて、自社で取り組もうと考えました。親戚のところから、工場を貸してもらい、事業を始めました。

「食の芽組み」で注目を集める

同友会の会員の方から、FASTの食品開発のプロジェクトの「食の芽組み」の話を知り、是非、参加したいということ、同友会に入られ、九州経済産業局とFASTの連携から生まれたfacebookのグループ「九州の食」にも参加して、自社の小ロット生産について発表したところ、いくつかの依頼があり、生産に取り掛かり始めました。



もちろん、小ロット生産なので、コストは高くなります。新規商品のテストマーケティングの段階での生産や、こだわりの限定小ロット生産などに向いた工場で、量産化する場合のどのくらいの生産数量になったら別の工場に生産を移すこと考えて置く必要があると思われます。

坪山さんは、後、粉にする加工やフリーズドライ加工など

の工程を加えていきたく考えています。すべてを自社だけで賄おうとすると、設備投資に費用がかなり回らなくなってしまおうので、行政や他社と連携して、お客様のニーズにえられるよう努めていきたいと考えています。

先日、北九州ソーシャルビジネスメッセにおいて、食の芽組みで、パネル展示をしました。行政の方や中小企業診断士、フードコーディネーターの方など、小ロット生産に非常に興味を持たれていました。

corporate data

株式会社 ジオエステイメイト
 ●新宮事務所
 福岡県糟屋郡新宮町上府
 680番地1
 ☎090(8351)3126
 ●工場所在地
 福岡県田川郡福智町赤池
 474159
<http://geo-e-mate.com/>

取材・撮影…広報情報室 船木 治

ようこそ同友会へ

welcome
Fresh our partners

新入会員
ご紹介



九州太平商事株式会社

学校給食を主とした、冷凍及
び常温の食品卸売業

福岡市博多区博多駅前 4-4-20-4F
TEL 092-472-2745
<http://k-taiheishoji.p-kit.com>

取締役 かく たくや 賀来 拓也 [南支部]

弊社は昭和52年の設立以来、学校給食事業の発展に努めて参りました。

時代の変化に如何に適応すべきか、経営者とはどうあるべきか等悩んでいた際、昨年11月のフォーラムにゲストとして参加する機会を得、先輩経営者の皆様の情熱に感銘を受け、ここで学びたい!と思い入会を即決致しました。

今年から5年間で第2の創業期と位置づけ、社業の発展に邁進していきたいと思っております。

ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



(有)セレーノ・コーポレーション

プロダクション業務（冠婚葬祭の司会・音響・演出等）、講師、イベント・パーティー企画他

福岡市中央区大名 1-15-7
ネオハイツ大名 905
TEL 092-725-4211
<http://www.sereano.com>

取締役 まえかわ ゆきこ 前川 由希子 [福博支部]

セレーノ・コーポレーション前川由希子です。

弊社は、プライダルや葬儀、イベント等の司会や企画演出、講師・社員研修等を行う、女性中心の会社です。

この度、同友会での、経験豊かな先輩方との出会いに感謝しています。多くの刺激や知識に触れ、成長していきたいと思っております。よろしく願いいたします。



株式会社 佐藤商店

研磨(化学・物理)研削関連資材の
販売及び施工。
各種防錆・防食塗料の販売。

北九州市八幡西区岸の浦 2-5-30
TEL 093-621-7135

代表取締役 さとう だいさく 佐藤 大作 [北九州支部]

株式会社佐藤商店の佐藤大作です。経営者としてまだまだ初学者ですが、入会以来、諸先輩方の熱気に当てられ、例会や勉強会、経営指針作成セミナー等で、強く、しかしながら心地よく打たれ続けております。

今後も、前へ!前へ!の精神で学びの場へ出て行きたいと思っています。よろしくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

19 日 18:30~21:00

筑紫支部
4月例会

社員一人ひとりが生き生きと働くために
～楽しく仕事をするための取組み～

■春日クローバープラザ

■権藤 光枝氏 有限会社 Branches 代表取締役 (青年支部)

「起きている時間の大半を過ごす仕事場で、いかに楽しく仕事に取り組めるようにするか。」という考えのもと、社員とともにどうしたら実現できるかを考え取り組んでいることを報告していただきます。

23 日 18:30~21:00

女性部委員会
4月勉強会

■G・Gソーラービル10階会議室 福岡市中央区天神3-4-9

■権藤 光枝氏 (有) Branches 代表取締役 (青年支部)

福岡市内で24時間365日稼働の認可外保育園を運営。シングルマザーだからこそ、子育てと仕事の両立の難しさを痛感し、安心して子どもを預けて働くことができる保育園を作りたいと思ったことが起業のきっかけになりました。24時間保育・学童を加えた縦割り保育、人材育成、安心して働ける職場づくりなど、経営理念と全職員の夢・目標を共有し、より良い保育サービスを追及しています。

19 日 18:30~21:00

南支部
4月例会

新会員歓迎の集い
～同友会に入会して、学んだこと～

■天神テルラ

福岡市中央区渡辺通5-25-18天神テルラビル4F ☎092-732-4441

■渡辺 年紹氏、金光 孝男氏 (南支部)

2011年度に入会された新しい仲間たちを歓迎する時期となりました。4月中旬にもなれば、桜も終わり暖かい陽気と新緑が私達を更に明るく元気にしてくれる事と思います。各社、お忙しい時期かとは思いますが、南支部の新しい仲間のこれからの学び合いの門出を皆様と共に祝いたいと思っております。また、同友会に入会してよかったことや、会をどう活用しているか等の話もごさいますので、是非ゲストの皆様をお誘い合わせの上ご参加ください。

24 日 18:30~21:00

企業連携推進委員会
FAST4月例会

中小企業を活かす広報とは
～元テレビプロデューサーが語る
中小企業のための広報活動～

■福岡県中小企業振興センター4階 401B

■若林 宗男氏 若林ビジネスサポート 代表 (南支部)

わたしたち中小企業の広報活動はいかにあるべきか。広報活動は、中小企業においては重要にもかかわらず、遅れをとっている分野のひとつです。テレビ東京で、ワールドビジネスサテライトに参画され豊富な実績を踏まえ昨年9月東京から福岡へ移転されました。マスコミの裏話や経営のヒントになるお話を語って頂きます。

ACTION REPORT 17

食の循環と伊万里町づくりに地域通貨を使った広報情報活動
報告者:弥栄 睦子氏 ミーズプロジェクト(中央支部)

19 日 18:30~21:00

中央支部
4月例会

社長の決断～激震に耐える、一筋のあかり～

■天神センタービル 福岡市中央区天神2-14-8

■高城 和幸氏 株式会社ビービーグローバル 代表取締役(中央支部)

2008年に株式会社ビービーグローバルを設立。順調に会社が成長する中、経営指針作成セミナーで指針書を作り経営指針発表会をしたのが会社設立記念日でもある2011年3月11日。奇しくも、東日本大震災発生日。震災直後は他人事のように感じていたという高城氏。徐々に自社への影響の大きさを感ずるようになる。その中で、会社の営業業務転換、スタッフの配置転換、数々の失敗、それをどう乗り越えてきたのか。だが、今もまだまだ苦悩の日々が続く。

25 日 14:30~19:30

久留米支部・西支部4月例会
県総会に振替

26 日 18:30~21:00

新会員フォローアップ
セミナー

■同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15

新会員向けの同友会活動をわかりやすく説明する導入セミナーです。

5月

19 日 18:30~21:00

経営指針作成「あすなる塾」オープンセミナー

■中小企業振興センター 401号

よい会社・よい経営者となる為には、経営者として理念を固め社員へ方針を示し、目標計画をもって全社一丸の経営にあたらなければなりません。これら経営指針(理念・方針・計画)を作成する為の基礎知識を学ぶ「あすなる塾」を開催致します。中小企業の経営に特化した経営指針の作成を共に学びませんか。

20 日 18:30~21:00

筑豊支部
4月例会

体験！モチベーションアップ術！～どのようにモチベーションを上げ、自社の売上アップに繋げるか～

■ユメニティのおがた 直方市大字山部364番地の4

■植村 恵美氏 オフィスブルーミングスマイルズ 代表者(筑豊支部)

2012年度も4月となり、新規一転、事業に取り組み新たなスタッフが仲間入りした事業所も多いかと思えます。5月に入ると「五月病」という言葉が存在するように、社員のモチベーションが下がることが懸念されます。そこで今回、人材育成のプロの視点から見た「モチベーションアップ術」を参加者の皆様に体験して頂く例会を企画しました。モチベーションの上げ方について今一度一緒に考え、全社員のモチベーションを上げる事で、自社の売上アップに繋げていきましょう!

20 日 18:00~21:00

福友支部
4月例会

経営指針書の発表会

■ホテル イルパラッツォ

■角 律子氏、庄野 道彦氏 (福友支部)

経営者の頭にあるイメージをいかに数値や言葉として紙に落とすか、又、経営指針の中で数字の流れの作成、経営者の思いの落とし込みを学んでください。

福岡県中小企業家同友会
第50回定期総会

4月25日(水) 14:30~19:30

リーガロイヤルホテル 小倉

14:00~ 受付開始

14:30~15:00 開会 *総会表彰

15:00~18:00 総会議事

18:15~ 交流会

19:30 閉会

1 日 10:00~16:00青年支部
4月例会

フレンドシップフェスティバル

■福岡市役所前広場

作業所支援イベントです。

10 日 18:30~20:00りょうちく支部
設立1周年記念特別例会

人を幸せにする經理の法則

■マツヤ会館

■末政 ヒロ子 株式会社ポポロン企画 代表取締役 (福友支部)

さて、この度は設立1周年を記念して特別例会を企画しました。報告者にはうきは市出身で元気企業づくりに活躍されている末政さんにお話し、熱く語って頂きます。末政さんの実践をもとにしたお話で必ずや地域の皆様に活力や元気をいただけるものと思います。

12 日 19:00~21:00大牟田支部
4月例会(予定)

■大牟田ハイツ

14 日 13:00~16:30

求人共育委員会

2013年度新卒採用合同企業説明会(第1回)

■天神ビル11F 10号会議室

共同求人活動のメリット

1. 情報交換で魅力ある企業づくり
2. 必要とされる人材を必要とされる企業へ
3. 学校と同友会とのパイプづくり
4. 学校との信頼関係の強化
5. 企業成長のための活動
6. 人材育成と社会的地位の向上

16 日 18:30~21:00かすや支部
4月例会

■福岡同友会会議室

■金川 俊一氏 株式会社ビッグロード 代表取締役 (東支部)

17 日 18:30~21:00博多支部
4月例会

私の営業戦略~周辺の環境から創造した戦略~

■IPホテル福岡 福岡市博多区中洲5-2-18 ☎092-262-2009

■岡 貴志氏 OKA サービス 代表者 (博多支部)

テーマを営業戦略としており、現状分析からの営業戦略の創造・発想を学びます。グループ討論では、他業種の営業戦略を参考に自社の戦略に役立て、お互いの強みを生かせる提携の仕方が見つけれられたらと思います。

17 日 18:30~21:00玄海支部
4月例会なぜ、今仕事と生活の調和なのか~
ライフ・ワーク・バランスを考える~

■天神ビル11F9号会議室

福岡市中央区天神2-12-1

■守田 優美氏 守田優美社会保険労務士事務所
社会保険労務士 (中央支部)

あなたは、自分の自由な時間を持っていますか?一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択、実現できるライフ・ワーク・バランス!魅力や競争力のある会社にするための効率的な仕事の仕方、自立した社員を育てるヒントを持ち帰りましょう。

17 日 18:30~21:00嘉飯支部
4月例会

車も会社も足元から~父のやり方、僕のやり方~

■パドゥ・ル・コトブキ 飯塚市片島1-7-62

■中村 達也氏

ミスタータイヤマン 有限会社パドック飯塚 代表取締役 (嘉飯支部)

今回は「事業継承」というテーマで報告して頂きます。中村さんは昨年代表取締役に就任し、まさに事業継承を行ったばかりです。報告では事業継承を行ってどう変わったか、そしてこれからどう変えていきたいか、また先代の社長への思い、父親への思い、今まさに感じている思いを報告していただきます。また報告の中では「時代の変化とともに会社も変化しなければ生き残れない」という中村さんの思いのもと、皆さんの会社では変化に対応できているかをもう一度見直す例会にしたいと思います。

17 日 18:30~21:00北九州支部・ひびき支部
4月合同例会

■ホテルクラウンパレス北九州

北九州市八幡西区東曲里町3番1号 ☎093-631-1111

■原 嘉法氏 有限会社味嘉 代表取締役 (ひびき支部)

企業は理念と情報力と変化に柔軟に対応できるエネルギー、そして経営をデザインする事が必要と語る原さん。

通販のうなぎの焼きおにぎり、焼きセイロの販売が好調!!第二弾、第三弾とアイデアを形にしています。ひびき支部の例会だけでなく、産学連携FASTに参加し、真剣に高いレベルで議論されてます。そんなエネルギーッシュな原さんの考える企業デザインとは...

18 日 18:00~21:00東支部
4月例会社員と共に100年企業を目指して
~42年間貢献してくれた社員が定年退職を
むかえた時、私が気づかされた事~

■WITH THE STYLE福岡

福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3941

■横尾 剛典氏 八幡漬物(株) 常務取締役 (東支部)

我々、中小企業家が経営を継続し企業を成長させていくためには、いわゆる経営資源(ヒト・モノ・カネ)の充実をはかることが不可欠ですが、今回の例会ではその中でも特に、ヒト(新卒採用の必要性和教育・共育の必要性)に着目し、我々経営者と共に100年企業を目指して行ける社員・社友作りを行なう為の具体的な取り組みを学んでゆきたいと思います。

18 日 18:00~20:30福博支部
4月例会

経営指針セミナー

~経営指針書を作成・活用して、経営力UPしよう!~

■IPホテル福岡

福岡市博多区中洲5-2-18 ☎092-262-2009

■コーディネーター 篠崎 啓明氏

■パネリスト 小川 雅之氏、宇都 翠氏、河野 広樹氏 (福博支部)

この2年間、福博支部においては、『いい経営者になろう』とさまざまな取り組みや例会を行ってきました。その中でも、『いい経営者になる』ための具体的な方法として、全員が『経営指針書を作ろう!』ということを目指してきました。

4月例会では、総まとめとして、昨年7月に経営指針セミナーを受講した方や経営指針書を作成した方に、経営指針書作成のきっかけから作成過程、現状、活用についての『学び』や『気づき』を、パネルディスカッション形式で発表していただきます。

19 日 18:30~21:00有明支部
4月例会

海苔業界の現在・過去・未来(仮)

■竹下 政敏氏 竹下産業株式会社 代表取締役 (有明支部)

新商品ご紹介

「地賛地昇」をモットーに

割烹旅館 長崎荘 専務 野中のなか

建治けんじ
東支店



食を通して地域をプロデュース

長崎荘では旅館の使命を、地域の文化・特産を食を通して伝えることだと考えています。長崎荘は佐賀県唐津市で創業1000年を数えます。屋号の由来は初代が長崎県出身であったことと、御縁が先に長く続くようにとの思いが込められています。地域に支えられて1000年。その恩返しも兼ねて、次の1000年へ向けた土台作りのために食を通して

地域のプロデュースをしていきたいと思っています。

旅館の朝食を 独自のレシピで商品化

長崎荘の商品は地醤油をベースに代々受け継がれる配合で合わせ寝かせた「秘伝醤油 うまくち」、玄界灘の荒波にもまれ小さいながらも油ののった「地アジの干物」、煮鯨と七山産の葉わさびを酒粕で和えた「鯨の粕漬け」など陸海の特産をベースに長崎荘独自のレシピで調理しています。商品は旅館の朝食で提供しており、お客様のご要望に応じて商品化しています。商品は唐津の道の駅での販売の他、電話と5月からインターネットでの取引も開始します。

「地産地消」とよく言われますが、玄界灘の豊かな漁場と豊富な食材に恵まれた唐津にとってただ消費するのではもったいない。地域の特産や文化にもう一度スポットをあて、地域と共に昇っていく「地賛地昇」をモットーにこれからもご家庭に旅館の朝食をお届けしていきたいと思っています。



- ◆醤油(220ml)…450円(税込)
- ◆鯨粕漬け(80g)…680円(税込)
- ◆アジの味醂干し(3尾入り)…350円(税込)



割烹旅館 長崎荘

佐賀県唐津市西城内 6-36 (唐津神社前)
TEL 0955-72-2254
<http://nagasakiou.com>

2011年度 第11回理事会報告

■日時：2012年3月14日(水) 15:00～20:00

■会場：福岡県中小企業家同友会会議室

■出席：31名(欠席委任3名) 出席率：91.2%

■議長：林田副代表理事

□開会あいさつ(中山代表理事)

福岡で3月8日～9日に開催された第42回全国研究集会は、とても大きな学びがあり全体会の最後では東日本大震災復興キャンペーンソング「SMILE AGAIN」の大合唱を行いました。13日の福岡地区「チャレンジフェスタ」も大盛況でした。今年本を年間30冊読むことを目標として、現在6冊読んでいます。「リーダーの教科書」という本の中で3つリーダーとして大事な事が書かれていました。1つは「インフォームド＝納得させる」、2つ目「エンターテインメント＝楽しませる」、3つ目「インスパイラル＝社員をその気にさせる」、私は3つ目の社員のやる気を引き出し、成長を促すということが欠けていると反省しました。本日の審議よろしくお祈りします。

■報告事項

1.前回理事会以降の活動

- ①中同協「第42回中小企業問題全国研究集会」参加報告
(樋口) 1,600名を越す参加があり活気のある、全国会員の熱い想いが福岡に集まったという本当に素晴らしい、感動的な全国研究集会でした。スマイルアゲインのCDも750枚分の募金活動が出来ました。
(時枝)第8分科会の光本支部長の報告でした。理念の実践を社員と共に、三位一体経営をめざしてということ、社員教育の観点で働くこと、社員のやりがいとはの論議が深まり、とてもよい分科会でした。2日目のパネルディスカッションも非常に良かった。「福岡原発で空気と水が変わった。恐ろしくもあり、悲しい。中小企業がなければ地域が存在しない」ということが今回の災禍で証明された。」との報告がとても印象に残りました。
- ②福岡同友会の活動(会員参加延べ987名、ゲスト127名、他1,452名、全体で2,566名)
- ③新聞・テレビ等報道(見る資料)

2.対外的対応

- ①後援依頼(資料により報告)
 - (1)後援等
 - 同友会が後援を依頼した件
 - ①4月1日「福岡フレンドシップフェスティバル2012」福岡市役所前広場福岡市より後援承諾
 - 同友会に後援の依頼があった件
 - ①福岡経営法務研究会「支配人育成講座」後援承諾
 - ②NPO 鶴ヶ川「筑後川マラソン2012」後援承諾
 - (2)委員等就任要請
 - 福岡市「福岡市中小企業審議会」の委員中山代表理事
 - 公立大学法人 福岡女子大学「経営協議会」委員就任要請 中村代表理事
 - 公益財団法人福岡市中小企業従業員福祉協会 理事就任要請 川畑事務局長

■協議事項

- 1.2011年度のまとめ(中山代表理事)
資料にもとづきまとめや課題を確認し、承認されました。
- 2.中小企業をとりまく情勢(中村代表理事)
資料にもとづき報告、今回初めて掲載する各地区毎の情勢も含めて承認されました。
- 3.2011年度決算見通しと2012年度予算(案)(長井総務財政室長)
資料にもとづき報告。決算見通しについては、退職給与引当金繰入を予算では60万円だったが120万円に増額した。次期繰越金は約920万円の見通し。2011年度決算見通しについて確認されました。
予算(案)については、収入は2011年度期首会勢(2,060名)に退会や会費未収を6%と見込み1936名で予算化。次年度新たな予算立て込み、地区活動準備費として300万円、活動準備費として100万円を新設。組織増強費を200万円、情報化積立繰入を200万円とし、次期繰越金として約980万円。繰越金について

は、今後、総務財政室にて、適正な繰越金額とどのように考えていくか検討します。2012年度予算(案)について、承認されました。

- 4.第50回定期総会準備(有馬地区会長)
参加目標数を福岡地区150名・北九州地区60名・筑豊地区20名・県南地区30名(全体で260名)に変更することの提案があり承認されました。(よって各支部の参加目標数は、各地区会で決めて下さい)参加の促進をお願いします。
- 5.会員増強のとりくみ(田浦代表理事)
 - ①2月入・退会者及び会員数・・・入会23名、退会21名で会勢1,994名(前月比2名増)
 - ②3/31までの理事会目標(34名)の進捗状況について、現在7名の増強。
 - ③期首会勢回復2,060名にむけた取り組みについては、現在期首会勢より増えている支部は6支部、ぜひ全支部での期首会勢の回復をよろしくお祈りします。
次年度増強の動きとして、下記3点を考えています。
 - ・全役員の意識強化をはかる。(増強研修等)
 - ・会員満足度の追求をはかり、退会者を半減する。年2回会員満足度調査を行う。
 - ・組織的、戦略的な増強を推進し進める。

6.50周年記念事業について

- ①50周年記念事業のコンセプトについて(中村)
資料に基づき報告。コンセプト「福岡同友会の過去・現在・未来」～会員企業の存続と発展で、「生きる・働く・暮らす・人間らしく生きる」をまっとうできる社会へ～が再確認されました。さらに50周年記念事業および組織、全体予算について確認されました。
- ②具体的な事業の進捗状況
「SMILE AGAIN」CDの普及について(中野)
3/13現在4608枚(福岡全分は集計中)の募金が集まっています。各支部の例会、ブロック会等で募金活動をよろしくお祈りします。
・第43回中小企業問題全国研究集会(樋口)
実行体制を確認しました。分科会部会をフォーラム委員会で担当、参加促進部会については、各地区会より副部長を選出することを確認。

- 7.法人化検討特別委員会報告に関する協議(若本)
報告書をもとに法人化した場合の課題、なぜ法人化するのか、今後のスケジュールについて議論しましたが、大変重要な課題でありじっくり時間をかけて議論する事案との確認をしました。今後正副代表理事会で議論を深めていくことになりました。

8.委員会関係の検討課題

- ①経営指針推進委員会「あすなる塾オープンセミナー」について(林田)
次年度運動方針にもあげられた「あすなる塾オープンセミナー」実施企画の提案があり承認されました。開催日は5月19日(土)、対象は、ゲスト・同友会会員・会員企業社員
参加費は3,000円。
- ②求人共有委員会「パーフェクトマネーブック」販売計画について(時枝)
2,000冊の販売計画について承認されました。
- ③同友会特別委員会2月講演会について、アンケート結果、収支報告を確認しました。

■審議事項

- 1.組織運営規定(長井)
資料に基づき組織運営規定(最終案)について、下記の2点の訂正をし、すべて承認されました。
 - ・第19条(表彰) 4) 退任をする正副代表理事に・・・ 代表理事に・・・と訂正。
 - ・最後の付記をすべて削除する。
 - 併せて総会運営細則も承認されました。
- 2.理事会の構成について
 - ・支部長を理事会の構成員とするかどうかについて、各地区幹事会での検討結果が報告されました。「この理事会体制になって1年も経っていない。充分時間を取って理事会の役割を検討すべきだ」「支部長を理事会の構成員とし、本来の地区会機能を果たしていきたい」と大きく

意見が分かれました。今後の理事会、地区会の役割を明確にすることが重要であることを確認しました。次回理事会にて審議する事としました。

3.除籍

2名の除籍が承認されました。

4.総会での国旗の掲揚について

次回の理事会にて審議する事としました。

5.中小企業憲章2周年記念、映画「ふるさとがえり」上映のとりくみ(村山)

資料に基づき再度提案されました。「この企画提案の仕方のプロセスに問題があり反対」「上映賛成」と各地区幹事会で検討された結果報告がありました。討議の結果、決め方、討議の仕方には問題があったと確認し、上映の取り組みについて承認されました。
尚、実行委員会については中小企業憲章本部が担当することを確認しました。

6.INF全国大会共催(伊藤)

INF(異業種交流ネットワークフォーラム)の第4回全国大会を2014年10月に福岡同友会主催(INF主催)で開催したいとの提案がありました。同友会も主催であること、開催日程も含めて、正副代表理事会で検討していくこととしました。

7.2012年度役員交代・補充について(船山)

資料に基づき船山役員選考委員長より提案があり、次年度役員交代・補充について定期総会に提案することを承認しました。

組織変更および役員交代

経営指針推進委員会 → 2012年度

経営労働委員会 委員長 林田浩暢

求人共有委員会 → 2012年度

共同求人委員会 委員長 時枝 寛

経営労働委員会 → 2012年度

共有委員会 委員長 光本智恵子

(従来の経営労働委員会植原正明委員長 退任)

役員交代

女性部委員会 委員長 村山由香里(現 明石智

津子女性部委員長 退任)

NPO交流・ソーシャルビジネス特別委員会

委員長 吉原勝巳

(現 村山由香里委員長は、2012年度女性部委員長に就任)

8.希望者全員65歳雇用確保達成事業の委託事業への参加について

次回理事会にて審議する事としました。

9.北九州市中小企業政策に関する要望

要望8、海外展開を支援するの項目に大連チャレンジショップの活動支援を引き続き要望することを加筆し承認されました。3月21日に北九州へ提出。

■報告事項

1.会員企業のうごき(事務局長)

①経営革新計画承認企業 7社(同友会会員企業累計299社/全県 3426社)

②表彰 経済産業省「第4回ものづくり日本大賞【九州ブロック】受賞

<優秀賞> 一番食品(株)

2.事務局関係(事務局長)

次年度事務局体制が報告されました。この4月末で谷村次長が定年退職、6月末で井上拓郎事務局員が宮崎同友会に、山田次長が家族の介護のため6月末で退職し、パート勤務となることが報告されました。

3.その他

①労働組合からの申し入れ(2/22福岡県民春闘共闘・3/6連合福岡)がありました。

②九州国際重粒子線がん治療センター(サガハイマツ)の紹介があり、「サポーターを募集中。ぜひご協力をお願いします」

□閉会あいさつ(中山代表理事)

次年度にむけてよい結果を出していきたいと思っています。理事が一丸となって、年度末までに期首会勢2,060名の回復と理事目標34名の達成にむけ、共に頑張っていきたいと思います。



月刊

同友

549号 2012年4月1日(毎月1回・1日発行)

平成9年3月14日第3種郵便物認可
頒価/380円(年間4,500円送料込)少会員の購読料は会費に含まれます。



トータルアドバイザー

松木 祥也

一級建築施工管理技士・宅地建物取引主任者

第17回 TH大賞 リフォームマジック部門 エリア賞 受賞
平成18年 北九州市すこやか住宅改造助成事業 優良業者 受賞
松木工務店

〒807-0846 北九州市八幡西区里中 1-8-12
TEL 093-612-0648 FAX 093-612-5414
URL <http://www.matsuki-koumuten.com>
E-mail m6120648@arion.ocn.ne.jp



株式会社 OMNIMO

代表取締役

安田 孝廉

〒806-0031

北九州市八幡西区熊西 1-8-2

TEL : 093-647-8028 FAX : 093-647-8767

e-mail : info@omnimo.jp

URL : <http://www.omnimo.jp>

planning and Advertising + web

株式会社アフェットプラスワン



環境を通じて

お客様に喜ばれる会社に!

【建物管理】 貯水槽清掃・排水管洗浄・断熱塗料の販売

【環境管理】 消滅型水処理装置の販売・施工
水質改善業務・微生物活性剤の販売
業務用エアコンの電気代及びCO2削減
システムの販売施工

代表取締役

中川 照將

〒807-1111

福岡県北九州市八幡西区船越 3-4-32

TEL : 093-614-5230 FAX : 093-614-5231

e-mail : nac@affetto-p1.com

URL : <http://www.affetto-p1.com>

建築設計施工

遠藤工務店

代表者 遠藤 正徳

北九州市八幡西区皇后崎町5-1
TEL093-621-7289 FAX093-621-7305

MIMM ミーム (未夢)
子どもたちの未来につながる
『夢ロード』



トンネル調査

ご用命お待ちしております

計測検査株式会社

〒807-0821

北九州市八幡西区陣原 1-8-3

TEL : 093-642-8231 FAX : 093-641-2010

URL : <http://www.keisokukensa.co.jp>



職人魂

有限会社 なかい印刷

〒802-0074 北九州市小倉北区白銀1丁目12-30

TEL (093) 941-5630(代) FAX (093) 941-5638

E-mail:info@nakaiinsatsu.jp

DM
ダイレクトメール

企画から発送までお任せ下さい。

(株) 不動工業

営業品目

- 各種化学製法
- プラント設計製作
- ボイラー製作
- 第一種圧力容器製作

代表取締役社長 有馬 進

〒806-0006 北九州市八幡西区屋敷一丁目3-23

☎093-621-0613 FAX 093-622-4431

E-mail s-arima@fudou-kougyou.co.jp



福岡県中小企業家同友会 広報情報室 「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号

福岡県中小企業振興センタービル11F TEL 092-686-1234 FAX 092-686-1230

<http://www.fukuoka.doyu.jp/>

福岡同友会

検索

環境を守るため再生紙を使用しています。

DOYU 16